

西原村議会だより【ゆうすい】

Yûsui

第123号 令和3年11月4日発行

NISHIHARA VILLAGE GIKAI DAYORI

No.123
2021.11.4

CONTENTS

- ◆9月定例会
《決算報告・質疑応答》／P2～3
- ・令和2年度 西原村一般会計等決算を認定
・質疑応答・監査の審査意見書
《一般会計補正予算》／P4～5
- ・令和3年度一般会計補正予算
・質疑応答
- ・その他の議会・臨時議会
- ◆一般質問／P6～9
- ・大規模林道の管理体制は
- ・西原村消防団組織・統廃合について
- ・スマート農業の導入について
- ・企業版ふるさと納税を取り入れてはどうか
- ・学校でのコロナ対策はどう取られているのか
- ・メール・LINE・Facebook等SNSを含めた村からの情報発信は考えているか
- ◆組合報告・議員研修報告／P10
- ◆よこいきなせ／P11
- ・西原村郷土料理「落花生豆腐」
- ◆地域おこし協力隊・編集後記／P12

コロナも退散!!

元気いっぱい
運動会の子ども達



令和2年度 西原村一般会計等決算を認定

9月
定例会

令和2年度一般会計決算を中心に、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計等5件の特別会計決算の認定を行った。

代表監査委員の河上勝彦氏から決算について審査報告があり、決算報告における議会からの質疑を受け、主な内容を本紙に掲載。

甚大な被害をもたらした熊本地震から5年が経ち、古閑地区・大切畑地区・畑風当地区・下小森地区・布田地区の集落再生事業も一部を残しほぼ完了している。今回は、総合体育館関連事業や新型コロナ関連事業の決算計上がみられ、これらの関連についての質疑が多くみられた。

決算認定において、一般会計では、実質収支額が昨年同様7億円を超える黒字となり、他の特別会計においても黒字決算となった。

各会計決算状況は次のとおり。

令和2年度 会計決算

項目	歳入	歳出	翌年度繰越額
一般会計	108億5,294万円	101億4,561万円	7億733万円
国民健康保険特別会計	9億8,269万円	8億7,294万円	1億975万円
介護保険特別会計	8億3,599万円	7億2,521万円	1億1,078万円
後期高齢者医療特別会計	1億7,113万円	1億6,712万円	401万円
中央簡易水道事業特別会計	1億1,627万円	8,538万円	3,089万円
工業用水道事業会計	2,245万円	1,186万円	1,059万円

9月定例会が9日～16日の8日間開催。
令和2年度一般会計・各特別会計の決算認定と健全化判断比率及び資金不足比率の報告等、認定6件・報告1件・令和3年度一般会計補正予算他議案11件・同意1件を審議し、すべて原案通り可決した。一般質問は4人が登壇し村政全般を質した。

質疑応答



【問】崖崩れ対策費の239万円の用途は如何か。
 【復興建設課長】村内16か所の調査対象大規模盛土造成地変動予測調査費である。



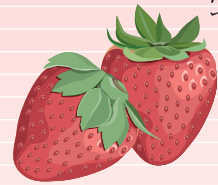
【問】税の徴収率が伸びており担当者の努力が見受けられる。現在の差し押さえの状況は如何か。
 【税務課長】差押えは不動産9件、車両3台、生命保険3件その他家電等20点、徴収猶予4件。

【問】総合体育館の落成式はいつごろか。また、体育館と防災公園は指定管理者制度で委託するのか。
 【企画商工課長】外構工事終了後の3月位にできればと考えている。管理については、1年間は役場が管理を行う。



総合体育館

【産業課長】学校給食における牛肉の提供を牛肉の消費拡大という形で毎年30万円位、年に2回給食提供ができる。現在では年に1回イチゴの提供を行っている。



【問】道路品評会の西原村全体をみると、3時間で終わっている所もあるが、2日にかけてやっている所もあると聞く。メーカーだけで補助金を出しているのか。
 【復興建設課長】道路品評会の報奨金は、集落の草刈をする総延長×集落の戸数×メーカー単価700円で通常計算をしている。今年は新型コロナウイルスの影響で審査会がなかったため、メーカー単価を350円に変更して計算をしている。

【問】合併浄化槽に推進費補助金1基ということであるが、単独浄化槽から合併浄化槽に変えるときの3万円なのか。
 【復興建設課長】単独浄化槽から合併浄化槽に変える際の補助金である。
 【問】農業振興費の中に農産物消費拡大材料費ということで金額が上がっているが、どういう事か。



道路品評会の様子

監査の審査意見書

西原村代表監査委員／河上 勝彦 氏

令和2年度、一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算並びに実質収支に関する調書及び基金運用状況の審査結果については、各会計決算並びに基金ともに計数に誤りはなく、よく整理され、会計経理は正確であることを認めた。財政運営については、先に記述しているとおり、平成28年に発生した熊本地震から5年、復旧・復興も終盤となり繰越事業を含め、33億円を投じ事業が実施された。国や県の補助金・交付金を活用し、また、交付税措置のある起債を財源として尽力されたことは大いに評価できる。

新型コロナウイルス感染症対策として、国においても経済対策・感染防止対策が取り組まれているが、終息方向にはまだほど遠い状況である。今後も情報をいち早く収集し、住民や企業等に周知し、住民が安心して生活ができるよう政策を進めてもらいたい。

令和3年度一般会計補正予算
6億7,760万円を追加

9月
定例会

総額57億6,261万円

主な追加歳入額（収入）

地方交付税（普通交付税確定）…… 1億280万円
 国庫支出金（道路維持補修事業）…… 2,060万円
 県支出金（農地等災害復旧事業補助金）
 ……………2,058万円
 寄付金（ふるさと納税）…… 1億7,000万円
 繰越金（前年度余剰金確定）…… 2億4,356万円
 村債（臨時財政対策債）…… 4,130万円
 村債（道路維持補修事業）…… 1,740万円

主な追加歳出額（支出）

財政調整基金及び公共施設整備基
 ……………2億6,700万円
 ふるさと納税返礼金関連 …………… 1億62万円
 新型コロナウイルスワクチン予防接種関連
 ……………1,667万円
 村道維持補修工事……………4,000万円
 農地等災害復旧工事……………2,663万円
 道路橋梁災害復旧費……………1,069万円
 公債費……………2,880万円
 予備費……………1億3,728万円

【問】財政融資資金、地方公共
 団体金融機構の償還金の減額
 は市中銀行への償還金の増額
 の為か。
 【総務課長】減額は公共事業等
 債を利用して総合体育館建設



立野雀塚線地図

【復興建設課長】今回の改修計
 画で交差点から北に100mまで。
 その先は
 今後相談
 しなが
 やつていく。



舗装工事予定地図

【問】大津南部工業団地と本村
 の境界の
 舗装工事
 の手続等
 はどの程
 度まで進
 んでいる
 か。

【問】社協の経営状況は。
 【村長】経営は順調であるが、職
 員のキャリアも考慮して給料の
 改革を進めていきたい。

【問】社協への補助金730万
 円の減額は何か。

【村長】社協の事務局長が役場
 より出向しているので、人件費は行
 政が支払っていることによる減額。

【問】山西小学校も古くなり、
 毎年雨漏りしていると聞いて
 いるが、補修計画は。
 【教育長】現在、ビニールシート
 等で応急処置をしている。現地
 調査を行い、部分補修か大規模
 補修かを検討していきたい。

【復興建設課長】当初は道路の
 協力が難色を示されていたが、
 後から協力をしていたが、こと
 になった。しかし、補助対象年度
 外ということで一般財源にあげ
 ている。

【問】小規模住宅改良工事が一
 般財源になっているが、どうい
 った経緯か。

事業していたが、一部繰越になった
 ので起債借入れがなくなった。
 市中銀行への償還金増額は
 返済予定期間が20年から10年
 に短縮したことによる増額。

令和3年度 特別会計補正予算

国民健康保険特別会計6,475万円を追加
総額10億1,452万円

介護保険特別会計1億1,281万円を追加
総額8億6,598万円

後期高齢者医療特別会計401万円を追加
総額1億7,316万円

中央簡易水道事業特別会計829万円を追加
総額1億940万円



【問】地域支援事業の国庫185万2,000円と県費98万7,000円の返還金が発生している原因は何か。
【保健衛生課長】新型コロナウイルスの影響で地域支援事業の中の介護予防生活支援サービスの内容が今までの内容から変更・変化し、通所系サービスの利用が減り、居宅系のサービスが増えている。トータル的に利用された件数、給付金が減少、事業費自体も縮小し返還が発生した。

■その他の議案

- 議案第49号…西原村手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第50号…西原村営単独住宅条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第51号…村道の路線廃止について
- 議案第52号…村道の路線認定について
- 議案第58号…物品購入契約の締結について
 (消防車用小型動力ポンプ3台)
- 議案第59号…工事請負変更契約の締結について
 (鳥子工業団地第2調整池整備工事)

■臨時議会

- 専第8号…令和3年度一般会計補正予算について
- 専第9号…令和3年度西原村工業用水道事業会計補正予算について
- 議案第46号…熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更について
- 議案第47号…工事請負変更契約締結について
 (総合体育館周り外構工事)
- 議案第48号…工事請負契約の締結について
 (古閑橋改築工事)

※いずれの議案も可決された



大津南部線地図



蓋の無い側溝

【問】この度、村道に認定される大津南部線だが、以前は農道であった為か、側溝に蓋が無く車が側溝に落ちる事故もあっている。側溝の改修は考えているのか。
【復興建設課長】今後改修していく。

Questions

小城 保弘 議員

一般質問

大規模林道の管理体制は
復興建設課長／定期的なパトロールを日々行っている。

西原村消防団組織・統廃合について
村 長／地元の見解を聞きながら幹部会で議論したい。

大規模林道の 管理体制は

【小城】大規模林道の樹木の枝等により大型車・観光バスなどが樹木に当たり、通行できないということだが、支障木及び枝の撤去は出来ないか。

【村長】大規模林道、奈良山医王寺線、栖高天神橋から村道医王寺向小川線、約3キロほどであるが、大半が村有地であり、村有地は村の費用で伐採。また個人の所有地は個人さんに連絡、または文書等で伐採をお願いする方向で今後進めていく。

【小城】大規模林道の管理体制はどうなっているか。また、大規模林道は大事な県境の主要道路である。吉無田高原の自衛隊駐屯地があり自衛隊も頻繁に使用しているの、防衛省等に管理協力は願えないものか。
【復興建設課長】通常の定期的なパトロールを村が日々行っている。定期的なパトロールに併せて、梅

雨時期の大雨や、台風が来ると予測される前に事前パトロール、雨や台風が去った後に事後パトロールを行っている。

パトロールのときに、路面に倒れ込んだ樹木や土砂などを含めた支障物に關しましては、小さいものであれば職員で処理し、大きなものに関しては業者へ委託し、撤去を行っている。また、年に1回、大規模林道、村道奈良山医王寺線、約6.2キロ区間の除草作業を委託している。



大規模林道の支障木

西原村消防団 組織・統廃合について

【小城】現在8分団24班の組織で運営されているが、高齢化に伴い、現在の団員を維持できているのか。

【村長】住宅火災時は、消防署の出勤により多くの団員は不要だが、大規模災害時や山林原野火災については、団員の確保が必要である。率直に言えば大変厳しい状況である。しかし、できる限り維持ができるよう勧めていく。

【小城】分団ごとの人員の差が激しく、少数分団の統廃合はできないか。

【村長】以前から幹部会で検討しているが、なかなか結論に至っていない。統合することによって、地元の非常時のときの初期対応は大丈夫なのか、地区住民に対し安全と安心感はどうなのかと不安とともに細部の対応が困難になりはしないかという問題もあり、地元の意見を聞いて幹部



西原村を守る消防団

会で議論したいと思っている。
【総務課長】来年度よりの報酬等の見直しを行うべく検討を進めており、消防団員の処遇改善により団員数確保に努めていきたいと考えている。



堀田 直孝議員

一般質問の記事は、質問した議員が要約したもので原文を尊重し一部編集しています。発言が「～である。」調で

スマート農業の導入について

【堀田】農業センサスによる農業従事者の数は、2015年の176万人から2020年には136万人に減少。本村でも農業従事者の高齢化、後継者不足に伴う労働力の低下、耕作放棄地の増加など課題となつている。

熊本県では、畜産や航空防除の分野を中心にスマート農業導入が進みつつある。

本村においては、主に甘藷、稲作、畜産、施設園芸等の農業がなされているが、現在、どのような取り組みがなされているかまた、どのような取り組み計画があるか？

【村長】スマート農業が西原村にはどこまでマッチするのか、今後の一つの大きな検討課題ではないかと思う。本村は、従来から、甘藷、里芋を主体とした農業経営が営まれて、作付から出荷に至るまで様々な重労働を伴う作物であり、

この負担の軽減を図ることは重要な課題であるので、積極的にスマート農業に取り組む必要性を認識している。

【産業課長】農業は重量物の運搬等、重労働を伴うということから、パワーアシスト技術の開発も大分進んでおり、重量農産物を主力作物とする本村農業にとつては、ここには大きな期待を寄せている。また、阿蘇地域振興局農業普及振興課から、西原村の甘藷部会の協力を得て、アシストスーツの効果とドローンによる防除の実証実験を行う計画であると報告を受けている。



ドローンによる農薬散布

【堀田】スマート農業は、非常に将来農業の発展に効果があるもののデメリットもある。第二にコストの割合が高いことや農業機械を操作する知識と経験に加え、ドローン等は操作士のよような資格が必要になる。農林水産省ではスマート農業について、ロボット技術やICTを活用した農業に補助金を出している。また、農林水産技術会議や企業でも自分たちの持つ持っているノウハウを提供して、農家の方も機械を買わずに委託できるといふようなこともなされているが如何か。

【産業課長】県の方でドローンを1回飛ばした。1haの甘藷畑に基腐病、殺菌剤の散布を行うということと、大体1ha散布するのに15分で実施をした。産地パワーアップ事業で今、重点品目として甘藷を上げている。

この事でスマート農業を推進し、優先的に採用するという方向になつてきている。

【堀田】西原村においても、九州

東海大学等の農業関係大学とも協力して開発に取組み本村でもスマート農業の導入により、体力がない人も、高齢者になつても、経験や技術を問わず、農業の労働力を軽減、品質向上、生産量の増加、所得安定等の発展が多く見込まれるので、益々の推進を願う。



重労働を軽減するマッスルスーツ

スマート農業の導入について

村 長

どこまでマッチするか大きな検討課題ではあるが、負担軽減から積極的に取り組む必要性は認識している。

Questions

坂本 隆文 議員

一般質問

企業版ふるさと納税を取り入れてはどうか

企画商工課長／国の認定申請を進めながら取り組んでいきたい。

学校でのコロナ対策はどう取られているのか

教育長／文部科学省のガイドラインに則った対策を実施している。

企業版ふるさと納税の導入について

【坂本】ふるさと納税企業版の税額控除引き上げに伴い、この取り組みに対して企業にメリット（節税等）があるようになった。当村も企業とタイアップして取り組んでほしい。

【企画商工課長】企業版ふるさと納税は令和2年から始まり、当初、企業にはメリットがあまりなかったが、議員が言われる通り、今年から最大6割の軽減だったが今年から最大9割に拡大されている。軽減前の令和2年度この取り組みとしては全国で110億円の寄付があり、県内において近隣では、高森町の南阿蘇鉄道高森駅周辺再開発プロジェクト事業やタブレット図書館設置事業、小国町では北里柴三郎記念館のシアタールーム建設事業が行われている。

【坂本】意欲がある自治体はすでに取り組んでいる。例えば補助事業でない単独的な事業に対してはうってつけだと思う、本村で取り組む気はあるか。

【企画商工課】新しい制度になり、国からの補助金がある事業に対しても使用出来るようになったので本村でも是非取り組んで行きたい。

学校でのコロナ対策について

【坂本】学校でのコロナ対策について、授業・登下校・部活動どういった対策を取られているか。

【村長】文部科学省のガイドラインに則り、また、村長・教育委員・医師・学校医・保健所等から意見を頂き、授業では1mほどの間隔を取り、大声を出さない大人数で固まらない等の感染対策を徹底、登下校や部活も同じで集会や行事も縮小や削減・時短で対応している。また、朝は体温測定を行い、家族や本人に発熱などの症状がある場合は出席停止の取り扱いにしている。

【坂本】タブレットパソコンを配布されているが、登校できない場合、家庭でのオンライン授業は出来るのか。

【教育長】現在、タブレットパソコンは授業の中でのみ使用している。家庭でのオンラインだと以下の問題がある。低学年のスキル・各家



高森駅周辺再開発ランドデザイン



タブレットパソコンによる授業風景

庭のWi-Fi環境が違う・教師のスキルが足りない等が大きな要因としてあり、現在全員がそろって使える環境にないのでそういったものを整備する必要がある。現在は一方通行ではあるが、すべての授業の黒板と教師の声を録画し、コロナ等になった場合でも自宅で勉強できる体制にしている。



記載していますが、質問・答弁は丁寧語で発言されています。会議録は市の公式ホームページで閲覧できます。

一般質問

尾崎 幸穂 議員

General

一般質問の記事は、質問した議員が要約したもので原文を尊重し一部編集しています。発言が「～である。」調で

メール・LINE・Facebook等 SNSを含めた村からの情報発信について

【尾崎】各地で起こっている災害において、被災者の皆様にお見舞い申し上げます。

本村における情報発信について『第5次西原村総合計画』の『高度情報化』において、『ホームページの情報更新の遅れが目立つ』とあるが改善されたか。

【企画商工課長】平成27年度に担当職員が簡単に掲載可能なシステム構築等の改修を行っているが、各課が掲載している一部のページでは情報更新がされていないものもある。ホームページの作成者研修等を今後も実施していきたい。

【尾崎】ホームページや、ユーチューブの更新頻度を増やして、検索のトップに上がるようにしなければ誰の目にも止まらないと思う。こちらにも改善してほしい。



R3.10.22現在 1,269回再生 西原村紹介イメージ動画

【尾崎】これから頻繁に起こる災害には感染症対策と併せての対応が必須となっているが、災害への対応をしっかりと見据え、情報発信、情報収集を行わなければならない。

今後、メール・LINE・Facebook等SNSを含めた情報発信を自治体としてすみやかにするべきではないか。

【企画商工課長】現在、村のホームページシステムと連動できるのか、情報発信の仕方や管理方法、体制づくりなど検討課題があるので、今後近隣町村の状況などを聞きながら精査、検討していく。

【尾崎】防災無線などの情報はメールやLINEなどですぐ手に入る状況にしておかなければ意味がない。小中学校では安心メールなどで声掛け事案等の情報も流している。村民が被害を受けたくない為に、確実に受け取れるメール、LINEなどの整備体制を願う。

メール・LINE・Facebook等 SNSを含めた村からの情報発信は考えているか

企画商工課長／近隣町村の状況などを聞きながら検討したい。



他の行政のメール・ライン画面



益城、嘉島、西原環境衛生施設組合議会報告

令和3年8月20日(開会) 組合議員/堀田 直孝

令和3年第2回益城、嘉島、西原環境衛生施設組合議会が開催された。
令和2年度益城、嘉島、西原環境衛生施設組合一般会計決算…全員賛成認定

《歳入》予算現額5億5,995万円…調定額及び収入済額5億6,754万円

《歳出》予算現額5億5,995万円……支出済額5億1,690万7,019円

歳入歳出差引残額5,063万5,477円 うち基金繰入金0円

令和3年度益城、嘉島、西原環境衛生施設組合一般会計補正予算…全員賛成可決

令和2年度組合決算に伴う繰越金の確定により、

補正額4,063万5千円を追加し、

歳入歳出の予算の総額を5億7,943万5千円とする。

《リチウム電池による不燃物処理施設火災頻発》

最近ではリチウム電池の発火による
不燃物処理施設の火災が頻発している。

今のところ、大事に至っていないが、
ゴミ出しの分別ルールを守ることが重要となっています。



火災の原因となっている
様々なリチウム電池

市町村議会議員研修『自治体予算を考える』

講師/武庫川女子大学経営学部教授・JIAM客員教授 金崎 健太郎氏

本村からの参加者/堀田・小城・尾崎

本来、滋賀県の施設で1泊2日での研修であったが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の為、オンラインでの研修となり役場大会議室での受講となった。

研修1日目

- ◆ 予算の種類やルール、執行部内の予算編成の流れから成立・執行までの流れ
- ◆ 予算案のチェックポイント(一部だけを見るのではなく全体も見て考える)
- ◆ 地方交付税の仕組み

研修2日目

- ◆ 財政現状の把握(資料は市町村のホームページだけでなく、総務省などでも公開されている資料を基に財政状況を把握)
- ◆ 地方公共団体と民間企業の会計との違い

※今年度の予算書のチェックは個人的に上記の指摘通り全体を見るといところまではできておらず反省。行政から渡される資料だけではなく、総務省や自治体が公開している資料もあることを初めて知ったので今後はしっかり活用していきたい。

令和3年度
市町村議会議員研修[2日間コース]
「自治体予算を考える」

地方議会は、広く住民の意見や要望を把握し、議論することによって、住民の未来を創造する役割を担っています。地方の財政状況が厳しくなる中、住民の代表として一番身近な存在である地方議会は、まちの財政状況や施策を把握・議論することが、ますます重要となってきています。

今回の研修では、市町村議会議員の皆様を対象に、行政と共に住民のための予算を作成するにあたり、必要な知識や視点を身につけていただくことを目的としています。

研修のポイント

- 自治体予算の原則・制度、歳入・歳出予算の基本的事項やチェックポイントについて学ぶ。
- 財政診断をもとに、持続可能な財政運営方策について考える。
- 地方公会計の基本的事項を理解し、その活用について学ぶ。



西原村の郷土料理

落花生豆腐

高本 孝嗣

今や「西原村の農産物は何ですか?」と住民の方に伺えば、ほとんどの方が「サツマイモ」と答えられる。西原村にはその他の農産物として、畜産業・稲作・里芋・施設園芸(トマト・イチゴ・ホオズキ・アスパラガス等)・栗・柚子等もあります。

最近はずっかり見かけなくなりました、たばこ・養蚕・麦・ホウキビ・大豆・落花生等も多く栽培され、西原村の農業を支えていた。ご存じの様に、西原村には農産物を根こそぎ持っていくような強い風が吹く「まつぼり風」があります。そのまつぼり風に耐え、線虫など病害虫に強く、地力の弱い西原村の土壤に合うマメ科の農産物「落花生」を、多くの農家が栽培していました。

昭和50年代までは西原村の落花生生産量は県下でも有名であり、生産された落花生の殆んどが千葉県へ出荷されていました。

しかしながら生産過程での収穫が炎天下の手作業収穫であり、また生産対価が合わないということで栽培を止められた農家が多く、近年では自家消費用の生産が中心で、出荷を目的に生産されている農家は少なく、栽培されている畑をあまり見かけなくなった。

さて西原村郷土料理の代表として落花生豆腐が挙げられますが、自家生産されていた落花生を使った料理として、数十年前農協婦人部(当時のJA西原内)にありました生活改善グループの方々の指導の下で各地域の婦人会や各家庭に普及されていたことを思い出します。

現在もお盆や正月の来客へのおもてなしとして、自家製の落花生豆腐を作っておられる家庭もあります。興味のある方は自分で落花生豆腐を作ってみませんか。

また当時の普及員でおられた方が、現在も落花生豆腐を製造販売されていました。是非ご賞味下さい。

**RAKASEI
TOFU**
NISHIHARA VILLAGE LOCAL DISH
PEANUT-TOFU



皆様に愛されている西原村の郷土料理「落花生豆腐」



地域おこし協力隊

Community Development Cooperation Team
for Nishihara Village

渡辺 紗也加さん

こんにちは!地域おこし協力隊として着任し、2年目となります。神奈川県出身で、以前は営業のお仕事をしていました。西原村に移住するきっかけとなったのは去年の1月に初めて熊本旅行に来たことがきっかけです。熊本の美味しいご飯を食べ、きれいな景色に感動し、そして熊本の皆さんはとても親切で都会とは違った人の温かさに触れました。

熊本で人のため、地域のためになることが何か自分にも出来ることはないのかと思い地域おこし協力隊に応募させて頂きました。活動内容としては情報発信や地域イベントをメインにさせて頂いております。情報発信としては西原村の飲食店やお店、観光地などを回り日々SNSにUP!目的としてはたくさんの方に西原村にはこんなに素敵な場所やお店が沢山あるという事を知ってもらい、実際に来ていただけたらと思っております。村内の方でも気になっていただけたけれど行ったことがないお店などに行くきっかけになれば嬉しいです。

地域の一大イベントとして一昨年から「ニシハロウィン」というシルクスweetの収穫体験を行っています。ニシハロウィンという名前の由来は、西原村とお芋の収穫が10月であったことからハロウィンをかけ合わせ出来た名前です。昨年のお芋ほりは新型コロナ感染症対策を考えオーナー制度とし、人数制限、マスク着用、消毒、検温を行い開催日数を増やしての実施となりました。昨年は

学校や幼稚園・保育園での行事が中止されたこともあり、村内だけではなく熊本県内全域からたく



さんの方がご参加してくださり、コロナ禍でのイベントとなり不安もありましたが、皆様のご協力のおかげで大変有意義なイベントとなりました。

今年のオーナー制度は苗植えから行い、皆さん自身で植えた苗が育ち収穫するのを楽しみにされています。雄大な大地と山に囲まれているこの豊かさを楽しく体験していただく事で、西原村を好きになっていただくきっかけの一つになるようなイベントにしていきたいと思っております。

今後も活動を通して、西原村を盛り上げていけるよう頑張っていきたいと思っておりますので、皆様よろしくお願いたします!



ニシハロウィンで収穫体験

編集後記

新型コロナウイルスが長期化する中でお困りの家庭も有ると思いますが、そんな時には一人で悩まず相談されてみてはいかがでしょうか。

仕事が減った方・子育て世帯や年金生活者の方など補助金・助成金・給付金が沢山御座います。このような制度は有るものの、残念ながら行政側から個別に連絡はありません。

役場に相談や、厚生労働省のホームページを一度覗いてください。自分で調べる力を身に着けるととても便利です。そして、コロナを乗り切りますように。

文責／坂本 隆文

広報委員

- 委員長 坂本 隆文
- 副委員長 堀田 直孝
- 委員 小城 保弘
- 委員 高本 孝嗣
- 委員 尾崎 幸穂

発行責任者

- 議長 山下一義